

育児院だより

発行：社会福祉法人児童養護施設 埼玉育児院
〒350-1175 埼玉県川越市大字笠幡 4904-1
発行責任者：柴山英士 編集：児童養護施設埼玉育児院広報委員会

2020年9月15日

第71号



TEL049-231-2107
Fax049-231-2111



特別な夏

今年の夏は、コロナ禍における生活様式の変化から、東京都の小池知事やマスコミで「特別な夏」というネーミングをしています。目に見える例年との大きな違いは、国から「新しい生活様式」が示され、マスクの着用とこまめな手指の消毒、3密を避けるための外出自粛による働き方や生活様式・生活行動の変化、その影響による経済への様々なダメージであるかもしれません。私としては、世の大人たちが真剣にこの事態を受け止め、自体に真摯に対応しようとするとき、規定やルールではなく一人ひとりの意識が行動を起こすという事象を経験した「特別な夏」でした。批判的な見方をすれば、日本人は集団主義、全体主義的だからだとか、国民は同調圧力に弱いだとか言われますが果たしてそうでしょうか。私たちの施設が目指す子どもの養育像は、まさに主体的に考え、自立した行動のできる子を育てていきたいと思っています。新型コロナウイルス感染拡大の中、日本人の大半の人は、同調圧力ではなく自分の行動を自分の意志でコントロールしている、という結果ではないかと思います。それは、子どもたちにも大人の思いや行動が反映され、育児院の子どもたちは、緊急事態宣言の時も夏休みにおいても、感染するリスクの高い行動が抑制されていました。大人の模範が、子どもたちに確実に反映されていたのです。さらに何事もそうでしょうが、大人が真摯に事に向かい合うとき、子どもたちには確実に伝わるものだという事を目の当たりにした夏でした。人類の英知ができるだけ早く、このコロナ禍を終息させてくれることを祈るばかりです。

埼玉育児院 院長 柴山英士

特別な夏①

梅雨が長すぎて初めてキノコが生えました。



特別な夏②

小学生・中学生は8月1日～16日までの夏休みでした。



特別な夏③

「ラジオ体操」を毎朝10:00に育児院の中で行いました。



特別な夏④

自粛が解除され、保護者・里親との面会交流や学生の実習受け入れを再開したところ、2部屋ある親子訓練室：トトロが毎日フル稼働。



子どもの声

夏休みの思い出



夏休み中ずっと
おり紙
 つくりました！

花やハートのメロメロ。
 うちの千代紙子にフク、タリ...

自分のペースでつくることが
 できました!!!

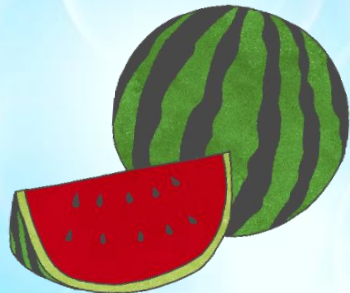
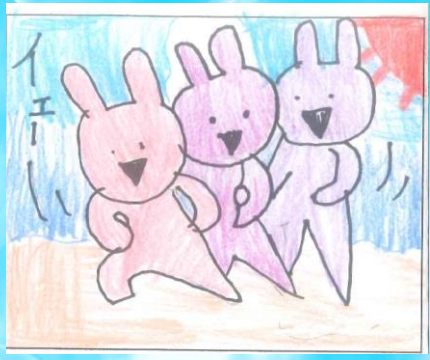
夏休み中にみんなと
ボール
 であそんでいました



たくさん絵を描いたよ



私は夏休みの思い出をみんなに宿題で話して
 した。そのほかにもCがロケットの職員さん
 にお話をした。夏休みの思い出にお話
 した。10月のお話も話した。また、C
 がロケットのレクでも、7月のお話を
 して、ストーリーブックを見つけた。とても
 楽しかった。あと夏休みの最後ぐらいに
 お話をした。とても楽しかった。夏
 休みサイトの思い出に話しました。





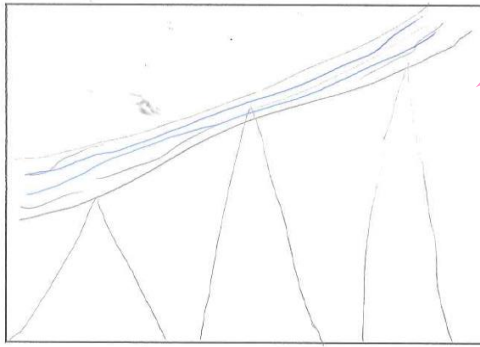
せきもとさんがはげたの
しんでいました

みずあそびをやった

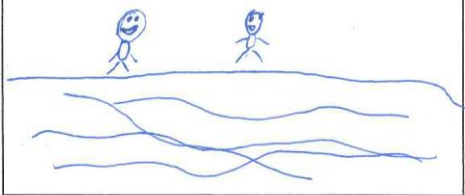
サッカーをやりよけ!!

流しそうめん
おいしかった!

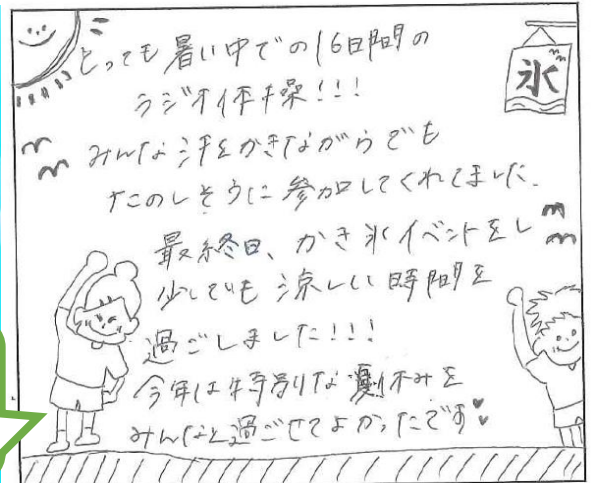
私には、今年が初夏休みでした。(有休取)
やっぱり、夏レクが、たのしかったです。



川に行きました。
たのしくてたのしくておもしろ
かったです。



フリー職員主催!
盛り上がりました。



例年とは違う夏休みになりました。

そんな中でもそれぞれのお家で、家の中でできることをしたり、外で密を避けてのレクをしたりと、短い夏休みを全力で楽しみました! 宿題は例年通りあったので、苦しむ場面もありましたが…。色々な意味で忘れられない夏になったと思います。 来年の夏は旅行もできますように!

埼玉育児院 職員チーム紹介

第1回 ひとり専門職チーム

育児院は、全児童を全職員で支援する大きな一つのチームですが、お家やそれぞれの部署単位は小さな職員チームになっています。

心理士 栗津

ひとり専門職チームのリーダー

○業務内容：子どもの心理面接・職員相談

○育児院で働くきっかけ：大学でお世話になった先生から、入学した時から“心理職で働きたい”と伝えていたところお話をいただいた。

○やりがいや大変に感じるのは：子どもにとって、最善なことは何かを考え、自分自身を改めていかないといけないところがやりがいでもあり、大変なことでもあると感じる。

○休日の過ごし方：サイクリング



職員チームを紹介する第1回目は、『ひとり専門職チーム』。施設の配置人数が1人・少人数の職種「ひとり専門職」です。普段は、それぞれ別々の業務にあたっていますが、今年度から専門職チームとして結成しました。協力し合い、より一層互いの専門性を発揮し児童の生活を支援するケアワーカーとの連携を図っています。

心理士 西村

○業務内容：個別心理療法：1対1の心理面接。コンサルテーション：職員との連携・情報交換。事務仕事：書類・記録作成

○育児院で働くきっかけ：子どもを対象とした仕事をしたかったため。

○やりがいに感じるのは：子どもたちの成長が見られるのは嬉しい。

○リフレッシュ方法：おいしいものを食べる・飲む。読書。



里親支援専門相談員 栗津(須藤)

元お家のケアワーカー

○業務内容：里親制度普及・推進。地域の中の里親家庭で幸せに生活する児童を増やすこと。

○育児院で働くきっかけ：保育士養成の専門学校で見た求人票でケアワーカーとして。当時の私には住み込みが魅力だった。

○やりがいや大変に感じるのは：里親さんや他施設の仲間との繋がりが深く広がっていくことが嬉しいし、モチベーション。児童や里親さんの人生に短期間で深く大きく関わる緊張感で寝られないことがある。

○今後の夢：里親委託

・家庭引き取り等々

ステップファミリー

支援を地域で行いたい。



イラスト：宮城

看護師 新井

児童養護施設ではとても貴重な看護師

○業務内容：子どもたちの体調が悪い時、ケガをした時の受診・付き添い。健康管理に関するアドバイス。

○育児院で働くきっかけ：施設のホームページに偶然出会い見学。育児院の子どもたちのために何かお手伝いできることがあればと思い志願し働かせていただくことになった。

○やりがいや大変に感じるのは：子どもとかわる時間は多くないが、通院等短い時間に少しでも役に立てていると感じることができ、子どもが自分の体のことに興味を示してくれたと感じた時にやりがいを感じる。通院や医療的ケアでの対応の選択が難しいと感じることがある。

○今後の夢・抱負：健康でチャレンジ精神を忘れないで年を重ねること。



栄養士 白石

○業務内容：子どもの心身の発育と発達を栄養面からサポートすること。子どもたちが安定的な生活水準を保てるように自立までの食生活支援の食育推進を行う。

○育児院で働くきっかけ：食を通して子どもたちの成長に係わる喜びを感じて。

○やりがいを感じるのは：食への興味関心の低さや味わうことに無関心だった子どもが興味関心を示してくれた時。

○リフレッシュ方法：散歩する。運動靴や頑固な汚れを真っ白に近づける。



令和元年度決算について

児童養護施設 埼玉育児院(サービス区分)

令和元年度 資金収支明細書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位 千円)

【事業活動による収入】

児童福祉事業収入	362,668
借入金利息補助金収入	278
経常経費寄付金収入	607
受取利息配当金収入	5
その他の収入	4,372
事業活動収入計(1)	367,930
収入計(1)	367,930

【事業活動による支出】

人件費支出	248,655
事業費支出	57,509
事務費支出	25,776
支払利息支出	557
その他の支出	3,653
事業活動支出計(2)	336,150

【施設整備等による支出】

設備資金借入金元金償還支出	4,490
固定資産取得支出	1,977
施設整備等支出計(3)	6,467

【その他の活動による支出】

積立資産支出	12,540
拠点区分間繰入金支出	5,098
サービス区分間繰入金支出	90
その他の活動による支出(4)	17,728

支出計(5) = (2) + (3) + (4) 360,345

当期資金収支差額合計(1) - (5) 7,585



グループホーム 地域小規模児童養護施設

って？



埼玉育児院には、地域小規模児童養護施設と言われるグループホームが2カ所あります。『松本ホーム』と『原田ホーム』です。育児院のグループホームの様子をお伝えします。

厚生労働省 児童養護施設運営指針より

子どもの生活の場をできるだけ家庭あるいは家庭的な環境で養育する「家庭的養護」と、個々の子どもの育みを丁寧にきめ細かく進めていく「個別化」が必要である。

できる限り小規模で家庭的な養育環境(小規模グループケア・グループホーム)の形態に変えていくことが必要である。



グループホームの料理を紹介します!!



季節ごとに旬の野菜や果物を取り入れたり、行事の時は行事にちなんだ料理を作り子ども達との会話を大切にしています。子ども達の食べたいメニューを作ることができるのもグループホームのいい所です。また、一緒に台所に立ったり、職員が料理している所を間近で見ることができるので子ども達もより家庭に近い環境で過ごすことができます。

<松本ホーム>

どうしても焼き鳥を食べたいということで、ある料理名人の職員が朝から焼き鶏屋張りに仕込みを行いました。メニューは、ねぎま、つくね、かわ、砂肝、もも、なんこつ。遅番の職員は焼くのみという所まで準備してくれました。丹精込めて作った焼き鳥は、リクエストした子どもをはじめ、どの子もおいしそうに食べていました。焼くだけの職員が一番おいしかった焼き鳥は砂肝でした。とても時間がかかりましたが、子ども達にこの想いが伝わっていることだと思っています。



<原田ホーム>

七夕の日にはそうめんに☆の飾りつけをして、見て楽しい、食べて美味しい行事ならではの食事を作るように心がけています。



魚料理は苦手な子ども多いですが、美味しく食べることが出来る様に職員も日々工夫しています。さんまも一人一尾、焼き立てを出して、骨に苦戦したりしながらも頑張って綺麗に食べる姿がありました。職員もお手本になるようなきれいな食べ方をしないといけないと改めて感じました。



栄養士とも相談しアドバイスをもらいながら、日々考えて食事を作るようにしています。栄養バランスなどを考えて献立を立てるのは難しいですが、子どもたちの成長のために美味しい料理を作りたいと思います!!



児童福祉や社会的養護、子どもの養育に関する新聞記事に対し、育児院の状況や課題などをお伝えします。

今回は、令和2年8月3日

福祉新聞

『 児童分野に慰労金 』

愛知県など自治体が独自に

新型コロナウイルス感染症の対応に追われる子ども分野で働く職員を対象に、独自に慰労金を創設する自治体が出てきた。愛知県では児童養護施設や保育所を対象とした「応援金」を創設。政府は福祉分野に対し慰労金を支給する方針を示しているが、子ども分野は対象外となっており、現場からは「コロナ第2波の足音が聞こえる中、こうした取り組みが全国に広がれば」という声も出ている。

政府は5月、新型コロナに関する「緊急包括支援交付金」を拡充し、福祉分野で働く職員全員に一人当たり5万円の慰労金を支給すると発表した。施設で新型コロナが発生していれば20万円に増額する。

ただ対象は特別養護老人ホームや障害者施設、救護施設などの高齢や障害分野に限定。児童養護施設や乳児院、母子生活支援施設、保育所など子ども分野の施設については、「重症化のリスクが低いこと」から慰労金の対象外としている。

そうした中、愛知県は独自に「民間児童福祉施設職員応援金」を創設した。応援の目的について愛知県は「職員の労苦に報いてモチベーションを維持するため」と説明。愛知県内の児童養護施設や特別老人ホームを運営する社会福祉法人和敬会の太田一平理事長は「政府による慰労金の対象から外された児童福祉関係者の落胆は大きかった。金額の問題ではなく自治体が現場に目を向けてくれたことがありがたい」「全国の児童養護施設でクラスターが発生していないのは職員の努力の結果だ。自治体独自の慰労金が他の地域でも広がれば」と話す。

コロナが一旦落ち着いたタイミングで、分散登校や短縮授業から始まり、少しずつ登校時間を増やし、2週間程度で通常登校となりました。学校に行けるようになったことで、「やっと行ける！友だちに会える！」と嬉しそうにしている児童もいれば、「もっと休みたかった～」なんて言う児童もいます（笑）。

なにはともあれ、日常が少しずつ戻っていくことを実感しています。ですが、コロナが消えたわけではなく、有効な治療薬や予防薬が開発されたわけでもありません。日常生活が戻ることは嬉しく思いますが、感染リスクは高まっているのかなと思っています。

記事にもあるように、全国どこの施設もコロナ対応に追われていることと思います。埼玉育児院でも、様々な対策が取られています。子どもたちにも協力をしてもらいながら、あるいは我慢してもらいながら、感染者を出さないよう努めています。コロナ差別や誹謗中傷といった間接的な問題もあります。諸々含め、施設内でもし感染者が出たら…と想定した対応策も検討を重ねています。記事の中で「子どもは重症化リスクが…」とありますが、こどもたちと職員、ともに生活をしているのが埼玉育児院です。生活をストップする、ということは現実的にありません。

高齢であっても、児童であっても、働く職員の意識に大きな差はないのかなと思っています。利用する方も職員自身も感染しない、させない！と日々過ごしているのだと。記事の中でもありますように、児童福祉分野に目が向けられることにありがたさを感じます。いまできる

ことに最善を尽くし、今後も取り組んでいきたいと思っています。



日誌

6月

4日:合同会議/基幹主任会議
6日:理事会
8日:Dブロック部署別会議
10日:運営会議/合同会議/主任会議
15日:育児院サポートクラブ活動
16日:基幹主任会議
17日:全体掃除/A・Bブロック部署別会議/合同会議
19日:埼児研新任研修リモート①
21日:中3北辰テスト施設内実施
24日:全体掃除/合同会議/B・Cブロック・ひまわり部署別会議/Bブロック避難訓練
26日:採用説明見学会
29日:小中学校通常登校/Dブロック部署別会議/施設長会リモート(院長)

7月

1日:経営者会議
2日:合同会議
4日:採用説明会②
8日:全体掃除/A・Bブロック部署別会議/主任会議/副児相長との連絡協議会(院長)
9日:埼児研リモート(関本)
12日:日中保育会議/基幹主任会議
13日:人材確保委員会リモート(院長)
14日:里親支援川越児相管内施設情報交換会(栗津)

15日:全体掃除/Cブロック・ひまわり部署別会議/合同会議/総務委員会(院長)/育児院サポートクラブ活動
17日:Dブロック部署別会議
19日:東京教育専門学校実習生Cブロック～31日
21日:川越児相里親サロン(栗津)
22日:権利擁護事例検討会(施設内リモート実施)/委員会/運営会議/合同会議/Cブロック避難訓練
28日:里親支援所沢児相近隣施設情報交換会(栗津)
30日:基幹主任会議/新任フォローアップ研修(基幹・新任)/目白大学実習生Dブロック～26日

8月

1日:小中夏休み/院内ラジオ体操～16日/基幹主任会議
4日:経営者会議
6日:合同会議
8日:職員採用選考日
10日:聖徳大学実習生Bブロック～22日
11日:Bブロックレク:BBQ
12日:基幹主任・ひとり専門職員会議
16日:院内ラジオ体操最終日&かき氷イベント
17日:小・中始業式
18日:川越市社福大会運営委員会(院長)
19日:全体掃除/A・Bブロック部署別会議/主任会議/基幹主任会議/川越市社会福祉審議会(院長)
20日:階層別研修2年目職員対象
25日:D部署別会議/Dブロック避難訓練
26日:全体掃除/Cブロック・ひまわり部署別会議/合同会議

お知らせ

今年、令和2年度のチャリティーコンサート・創立記念お楽しみ会は中止いたします。



いつもありがとうございます 6/1～8/31



※コロナ禍におきまして、感染防止などの観点から大変恐縮ながら、ご寄付・ボランティアを多数お断りさせていただきました。

《寄付者》倉片 清、萩原 利夫、元山 猛、高橋 一枝、匿名多数、まいまい、高星 清、黒澤 元男、圓岡 徹哉、青木 淳、伊藤 文子、伊藤 範子、長谷川 裕、宮崎 馳弓、株式会社毎日新聞社総務部、小畑 華、高橋 直美、山芳製菓株式会社、(株)トータルデザインセンター、小川 和泉
公益財団法人日本漢字能力検定協会

《除草等・広報誌送付作業》育児院サポートクラブ

順不同・敬省略